

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371100666
事業所名	有限会社ほほえみ グループホーム日陽

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入し地域の清掃活動には入居者も一緒に参加している。近所は田畑が多く散歩帰りには野菜等を頂くこともある。提携医師の協力の下、地域住民向けに「認知症講座」を開催し地域住民の参加があった。ホーム主催の行事には地元の方の参加も多く、餅つきは地域でも行う家庭が少なくなったため毎年好評を得ている。	評価
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 家族代表・町内会役員・地域包括支援センター職員・代表・管理者・職員をメンバーとし2か月に1回開催され、今年度も既に6回の開催が確認された。その全てに地域包括支援センター職員が参加している。職場体験を機会として地域の児童が訪問するようになり、今後その児童から家族へと波及するように祭りの企画を練り直す予定である。	評価
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4） 行政との対応は代表が取り仕切り、月に1度は区役所を訪問し、ホームの空き状態、生活保護担当者との打ち合わせ等行っている。一番身近な区役所の支所にパンフレットを置いてもらい、認知症の窓口となるべく新たな行政との協働を計画している。	評価
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 3か月に1度家族会が開催され今年度も2回以上の開催が確認された。ホーム便りも毎月、ユニットごとに発行され入居者の和やかな顔が家族の心に安心を与えている。家族の参加が増えるように、家族会を土日に開催することを計画している。	評価
重点項目	その他軽減措置要件 「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価
総合評価		

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×					

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	（例示） 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	（例示） 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	（例示） 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。